

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	#1	昨年のホームの目標の反省点として、「ヒヤリハットを出すタイミングが遅く、事故防止につながりにくい」という意見があったため、今年は「事故を予測し、ヒヤリハットをもっと早い段階で出そう」という目標を立てて取り組んでいる。	リスクを予測するという視点を持てるようになり、ヒヤリハットを出すタイミングが早くなることで事故防止につなげる。	ミニユニット会議でヒヤリハットがないか確認をする。また、ヒヤリハットが出た時は、そのタイミングが遅くなかったか、もう少し早く出来なかったかを検討する機会を設ける。	12ヶ月
2	#2	ご家族様アンケートの中で、「介護計画についてご家族に分かりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いをしていますか」という項目で「説明は受けたが話し合っていない」が2名おられた。説明の際、ご家族様の意見を聞く事が不足しているのではないか。	今までもご家族様には、介護計画の説明をする際に変更点を説明していたが、よりていねいに説明と意向の確認をし、また、細かなケアに対する報告や相談を行い、ご家族の安心につながるようにする。	ご家族様に介護計画の説明をする時は、変更点をより詳しく分かりやすく説明し、細かなケアについて相談したり同意の確認を丁寧にする。また、変更したケアによって、入居者様にどのような変化があったかを報告する。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。